

鹿ノ台川柳教室 二月二十日(月)

お題「皮肉」(連記)

八木哲子選

- 皮肉屋のほめ言葉にも刺含む 登美
- ちよつと誉め嫌味は決して忘れない 勝利
- 閉店セール今日一日の人の波 よう子
- 親よりもペット手厚く介護され アキラ
- 皮肉だね脂肪ついたが骨もろく えいじ
- 寺の子が合格祈願神詣で ミノル
- 当てこすりインサイダーの愚痴ばかり 正清
- 色褪せた服を見て嫁シツクです 乃り子
- 小池氏の皮肉きかせて話す芸 よし尚
- B面がヒットに化けるファン心理 千楽
- 見くびった敵に足元さらわれる 良一
- ⑤ 噛まず呑む皮肉丸めた糖衣錠 義雄
- ⑥ 無意識に皮肉いう人顔寒い 哲子

自由吟(共選)

坪田登美選

- だし抜けに鉄拳が飛ぶ父性愛 良一
- 寂しくて手の鳴る方へ誘われる よう子

- 身の丈の幸せサイズ心地よい アキラ
- 又も逝く昭和紡いだ演歌道 哲子
- 逆風に踏ん張らないと飛ばされる よう子
- デジ社会アナログ世代の挫折感 よし尚
- 平穩にすぎる日これぞ別世界 えいじ
- ほどほどにしてほどほどの倫理観 正清
- スキップを見せて縛れる年の功 正清
- レガシーと謳い血税積み上げる 勝利
- モザイクをかけて置きたい過去がある 勝利
- 滑らせた言葉ひとつで作る罪 義雄
- ⑤ 権力か氷の心血の裁き 哲子
- ⑥ AIに診断仰ぐ医者が増え 登美

自由吟(共選)

笹倉良一選

- ほどほどにしてほどほどの倫理観 正清
- 忘れててひよつと気がつくスケジュールよし尚
- 滑らせた言葉ひとつで作る罪 義雄
- 隣りから火の粉来るかも身構える 千楽
- 枯木立まとう物ない春よ来い 乃り子
- 平穩にすぎる日これぞ別世界 えいじ
- 身の丈の幸せサイズ心地よい アキラ
- スキップを見せて縛れる年の功 正清

モザイクをかけておきたい過去がある
 寂しくて手の鳴る方へ誘われる
 又も逝く昭和紡いだ演歌道
 ⑦レガシーと謳い血税積み上げる
 ⑧だし抜けに鉄拳が飛ぶ父性愛

勝利
 よう子
 哲子
 勝利
 良一

お題「焼く」(互選)

②オーマイガ神戸ビーフがウエルダン
 焼鳥で一杯話題鳥インフ
 世話焼いた孫もヒゲ生へ歳を知る
 ③胸にある小さいやきもち焼いてみる
 焼け木抗再燃期してそつと吹く
 ④世話好きが世話焼きすぎでうとまれる
 ケーキ焼く娘は恋をしたらしい
 夕焼けを抱いて明日の糧にする
 ⑤御神火が回廊走る古都の夜
 手を焼いた弟子も遅咲き土俵入り
 残像をテフロンにして焼き付ける
 ⑥リターンマツチ恋の火傷にまだ懲りず
 ⑧灰になり煙になれば楽だろか
 手を焼かせ脛かじった子巢立つ春
 ⑨焼け跡に菜の花芽吹く糸魚川

アキラ
 よし尚
 よし尚
 哲子
 乃り子
 登美
 良一
 勝利
 登美
 勝利
 正清
 義雄
 義雄
 アキラ
 乃り子

*寒さのせいか出席十二人・投句一人と少数精鋭。

俳句をやりたい、という南二・Tさんが見学してくださったおかげで盛り上がり、Tさんが互選トップの句

「焼け跡に菜の花芽吹く糸魚川」に一言。

川柳とすると違和感ありと。川柳と俳句の垣根は低い。

一つの句に季語が二つ(菜の花、芽吹く)あるのは問題・・・など、ホットに論争。

一月の句会で年間秀句賞など三冠に輝いた登美さんに自由吟の選者をしていただいた* (千)

今回は三月二十日午後一時から、西集会所で。

お題は「紙」と「まさか」、それに「自由吟」。各二句。

「紙」は連記用で一枚の短冊に二句とも書く。

自由吟(選者二人の共選)は二部を提出。(アキラ)

ホームページを御覧の皆さまへ

春です 川柳始めませんか 句会見学大歓迎

暇つぶしに、脳トレに、友達作りに、どうぞ

お問合せは左記へ なんなりと

問合せ

五十嵐修(79・0751)、原広子(79・0061)